

平成21年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、事業計画を基に具体的に記載してください。

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

地域の皆様に、ご利用いただく施設として、安心して、安全にご利用いただけるよう空調設備、消防設備、エレベーター等の点検を定期的に行いました。また、気持ちよく、ご利用していただけるよう清掃等を十分に行い、衛生面や備品の管理も徹底いたしました。

イ 効率的な運営への取組について

法人本部と連携し、業務の役割分担を図りながら、事務の効率化に努めました。また、法人において、複数の地域ケアプラザの管理運営を行っているメリットを生かし、各ケアプラザと情報を共有することにより、運営の効率化、経費の節減を図りました。

ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設け、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。また、法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、苦情の適正な解決に向けて取り組み、また、毎月サービス向上委員会を開催して苦情の分析を行いました。その取り組みの結果は毎月の会議において、職員に周知し、お客様の苦情やご意見から多くを学び、お気持ちに添ったサービスが提供できるように役立ててまいりました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画等を策定し、また年2回の防災訓練を通して、緊急時に地域ケアプラザ職員がマニュアルに則った適切で迅速な対応がとれるよう体制を整えております。

特に、防災訓練のうち1回は、複合施設であるため、戸部ハマノ愛生園と合同で実施いたしました。

また、災害時に備え、応急備蓄品を貯蔵、点検しました。

オ 事故防止への取組について

通所介護等におけるサービス提供については、毎朝のミーティングや毎月のスタッフ会議においてお客様の状況・情報を共有し、事故の防止に努めました。また、リスクマネジメントについて、研修を実施し、職員同士で学びあい、実践面で役立つようにいたしました。

ケアプラザ内においては、設備（空調・消防・エレベーター）点検・清掃・備品の管理を専門業者に任せるとともに、職員も日々点検を行い、ご利用いただく方の安全を図りました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人で定めた個人情報保護規程に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を定め、また、法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修に職員を受講させ、ケアプラザ内において全職員に伝達研修・啓発を行いました。

実際の個人情報の取り扱いとしては、契約書・記録等の書類やフロッピーディスク等については、施錠可能な保管庫で保管をする事を習慣化し、また、パソコン等のデータ管理については、システムセキュリティやパスワード使用等を徹底しました。

書類等を携帯しての外出の場合には、最小限の情報のみを個人が特定できないように工夫して携帯するように徹底し、今年度は情報漏れ事故はありませんでした。

特に、社会的に個人情報漏えいが多発している状況への防止対策として、下記の工夫を常時行いました。

- ① F A Xの誤送信防止のため、F A X送信時は、2人対応とし、F A X番号を指差し確認の上、送信しました。
- ② デイサービスのお客様記録書については、デイスタッフ・看護師・生活相談員で3段階チェックをしてお返しし、常に緊張感をもって取り扱いました。
- ③ 手渡しするものや郵送物は、日付・場所・対応者がわかるようにダブルチェックをしました。

貴重な個人情報を取り扱っていることを常に認識し、管理の徹底に努めました。

キ 情報公開への取組について

法人で定めた情報公開規程に則り、情報開示請求のあった場合には適切に対応できるように整備しております。今年度、開示請求はありませんでした。

また、ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供いたしました。

ク 環境等への配慮及び取組について

日常からゴミの削減、分別の徹底・コピー用紙の裏面使用等、ゴミを出さないよう、無駄がないように配慮し、横浜G30プランの推進に努めました。また、ケアプラザまつり際には資源循環局西事務所職員の方に協力をいただき、広く市民に向けゴミの削減をアピールしていただきました。日頃から節電・節水を心がけ、エアコンの適切な設定温度にも気を配る等、省エネルギー対策に取り組みました。公共の施設として、地域に向けても横浜G30やクールビズ・ウォームビズの情報発信を行いました。

また、植栽については、地域の障害者地域作業所の方の仕事の場として、水まきなどの管理をお願いし、植栽の花木を住民の方々に楽しんでいただきました。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

事業ごとの専門に応じて、一定の資格が必要であるため、年間を通してそれぞれ資格要件及び人員配置基準に従い、職員を配置しました。

また、全職員が担当事業に限らず、当地域ケアプラザの職員として、地域住民の多様な問合せに対応できるよう、情報の共有化と知識・技術の向上を目指した研修や会議を実施し、適切に対応いたしました。

イ 職員の研修計画について

専門集団であることを自覚し、サービスの向上と専門性の向上を目指した研修を行いました。

- ①法人本部・ケアプラザがそれぞれの年間研修計画を立て、職種・階層ごとに計画的、効果的に実施しました。
- ②外部研修を活用し、職員の自己研鑽を支援しました。特に、各専門職が技術や知識を向上できるような研修に積極的に参加できるようにいたしました。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

西区地域福祉保健計画・西区社会福祉協議会・各地区社会福祉協議会の事業計画等を理解し、その遂行に向け、関係機関と連携してまいりました。

また、地域住民の方に対するサービス向上のために、地域の特性をより深く理解して的確なサービスが提供できるように、積極的に関係機関を訪問いたしました。

イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

地域との連携を重視し、地区社会福祉協議会、町内会、各地区民生委員会などとの関係を密にするように心がけ、地域の一員として協働してきました。積極的に地域に出向いて、地域の方々の抱える課題などの情報収集を行い、また、「地域のためのケアプラザ」であることを広く地域の皆様にご理解いただけるように情報発信をいたしました。

自主事業については、さまざまな機会を利用して地域ニーズの把握に努め、ニーズに合った事業展開をいたしました。また、介護予防についても楽しく参加しやすいメニューの開発に取り組みました。

自主事業や地域の情報等については、ケアプラザの地域版広報紙や訪問時、おまつり等での配布、あるいはホームページ上やケアプラザ前の掲示板等で、それぞれの対象者に合った方法で広く地域に発信・配布いたしました。

ウ 地域福祉のネットワークの構築について

担当地域の地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員会などの会議に出席し、ネットワーク構築のための下地となる関係作りに努めました。地域の抱える諸課題の解決に向けて、それぞれが役割を発揮できるようにまた、役割を超えて連携することによってよりよい解決が導かれるようにネットワーク作りに努めました。西区内の地域ケアプラザと協力を深め、より広い視点から地域の課題が解決できるように連携に努めました。

エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域ケアプラザは、横浜市からの委託事業（地域包括支援センター・地域活動交流事業）と介護保険事業（居宅介護支援事業・通所介護事業）の2つの機能を有しています。このため、両事業の特性を活かしながら、各制度の限界を各々の事業間で補完し合い、地域の課題に対してより効果的に応えられるように協働作業をまいりました。ケアプラザ内に地域包括支援センターを設置していることから、行政との連携がスムーズであるという利点を活用した事業展開に努めてまいりました。

オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

地域包括支援センター事業・地域活動交流事業・居宅介護支援事業・通所介護事業という4事業の連携・職員間の協力が前提であることを各人が深く理解し、職員は戸部本町地域ケアプラザというチームの一員であり、チームとしての関わりができるように日常的に努めてきました。隔週に実施している所内会議の場で情報を共有し、検討事項を協議し、地域ケアプラザとしての方針を決定して各職員が共通認識を持ち業務に当たりました。また、事業別の会議も毎月、実施し各サービスの向上、情報の共有に努めました。

● 地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて

○ 高齢者への対応

高齢者が多い地域ですが、介護保険等のサービス利用が必要であるにもかかわらず、ぎりぎりの状態までサービスを利用されない方や介護保険サービスそのものを知らない方も見受けられます。

このため、地域の方からの情報等により、地域包括支援センターと連携し、高齢者の方への情報提供や支援に取り組みました。また、介護予防についても、地域ケアプラザの事業を紹介するなどして、理解を深め、意識して取り組んでいただけるように努めました。

○ 乳児・幼児への対応

マンションが増え、乳幼児をもつ若い世帯が増えています。母親の仲間作りや交流、地域における親子の遊び場や居場所作りに役立つ事業を行いました。また、地域における子育てや地域の要望等を、事業等を通してあるいは地域住民との交流の中から把握し、適切に対応してまいりました。

○ 団塊世代への対応

増え続ける団塊世代の退職後の居場所作り、地域へ関心を寄せていただくために、団塊世代の方を対象としたボランティア講座・育成に取り組みました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について

地域ケアプラザは横浜市の委託事業を受け、地域の課題に関して包括的に取り組んでいく役割を担っていることから、その役割を効果的かつ有効に機能していくために福祉保健活動団体の協力を得ることが肝要となります。貸室を広く地域の福祉保健団体へ貸し出して有効に活用していただきました。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

- 第1回 平成21年6月18日(木) 10:00～11:15
第1号議案 運営協議会委員の任期満了に伴う委員及び役員の改選について
第2号議案 平成20年度下期事業報告について
第3号議案 平成21年度事業計画について
第4号議案 ケアプラザまつりについて
第2回 平成22年1月21日(木) 9:30～10:30
第1号議案 平成21年度上半期の事業報告について

○議題

運営協議会では、地域の代表の方々に向けて、地域ケアプラザにおける事業計画・事業報告を行いました。また、皆様よりご意見・ご要望をお伺いし地域の福祉・保険事業を担う地域ケアプラザとして、よりよい運営ができるように取組んでまいりました。

エ ボランティア育成及びコーディネートについて

自主事業や通所介護サービスは、多くのボランティアの方々の貴重な協力を得て初めて実施できるものと考えております。現在登録のボランティアの方には、情報ラウンジの開放、ボランティア同士の交流やネットワーク作り、また、当ケアプラザへの意見を伺う場を設け、より良い関係性を結んでまいりました。また、地域ニーズに対応したさまざまな事業を円滑に実施していくために、新たなボランティアを育成できるような事業に取組んでまいりました。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

当地域ケアプラザの立地として、京浜急行線戸部駅から徒歩2分・相鉄線平沼橋駅から徒歩7分と駅から近いこと、また、平坦地であることから高齢者や子育て中の方にも利用希望が多いことが特徴としてあげられます。

- ・多目的ホールは、目標とした8割以上の稼働率をあげました。
- ・ボランティアルーム、地域ケアルームについては、地域の会議等での利用促進を目指し、諸団体へ広報・声かけを行ってまいりました。

カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について

地域の抱える諸問題を地域で取り組み解決をしていくために、子育て世代の悩み等を解決するための事業や、団塊世代の居場所づくりに貢献できるように「そば打ち講座」を実施し、終了者にボランティアとしての活動の場を提供しました。

キ 区行政との協働について

区の地域保健福祉計画を常に念頭に置き、事業を展開してまいりました。地域ケアプラザ連絡会や地区別懇談会などの機会には、区や地域の皆様の意見や確認を得ながら、協力し業務を遂行いたしました。

● 地域包括支援センター事業

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ① 相談事業での訪問時や事業を実施する際・地域の食事会・会議やおまつり、事業所への挨拶回り等々の機会に、地域包括支援センターの役割や3職種の職務について、地域との関係作りを行いながら、わかりやすく説明いたしました。
- ② 必要な場合は職員が出向いて、出前講座を行い、地域包括支援センターの説明や活用法をご案内いたしました。
- ③ 地域包括支援センターのPRとして、チラシやホームページの作成、ケアプラザ前の掲示板などで地域の皆様に広く案内しました。
- ④ 地域には、積極的に出かけ、ケアプラザを身近なものと感じていただけるように職員が「南京玉すだれ」を披露し喜んでいただきました。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ① 地域支援事業（体力向上プログラムなど）の実施に関しては、担当者を全職員がそれぞれの資格や能力に応じてバックアップしました。そのために、すべての職員が介護予防の知識を深め、地域支援事業対象者の把握にも協力しました。
- ② 地域ケアプラザ独自で作成した「元気である為の自己チェック」を用いて、日常生活の中から介護予防の意識を持っていただけるよう活動いたしました。
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメントとして、医療関係者とのネットワークづくりに取り組みました。
- ④ 各地区社会福祉協議会との連携に努め、総会・研修会等に参加し、協働で地域づくり、介護予防に取り組みました。
- ⑤ 西区地域の集いや地区別懇談会への出席により、西区や担当地区の課題の把握に努め、その中から介護予防につながるような情報を得て、事業として取り組んでまいりました。特に、次の地域の担い手である団塊世代に向けた事業に力を入れました。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業

□ 介護予防ケアマネジメントの実施目標について

高齢者自らが、日常生活の中で自立の意識を持てるよう、お客様の立場に立って一緒にケアプランを検討し、実現可能な目標を掲げたプラン作成に取り組んできました。また、介護予防の視点に立ったケアマネジメントの技術向上に努めました。

- ① 携わる職員全員が自立支援について正しく理解し、適切なプラン作成ができるように研修や事例検討を行いました。
- ② 対象となった方の意欲向上につながるような援助ができるように、コミュニケーション技術の向上に努めました。
- ③ 高齢者の方に安定した介護予防ケアマネジメント対応ができるよう、人員体制を整えました。

□ 特定高齢者の候補者数を把握するための方法、手段について

（高齢者の食事会等、民生委員との連絡会などを活用して）

- 西区福祉保健センターや民生委員との連携をより強化することで把握に努めました。
- これまで把握している相談事業の対象者や自主事業の参加者に個別チェックシートをすすめ、把握いたしました。

□ 平成21年度特定高齢者を把握するためのルートの構築について

- プラザの広報紙に介護予防の取組を掲載し、広く地域の方に広報しました。
- 自主事業の中で積極的にチェックシートを活用しました。特定高齢者候補

者の情報を区と共有することにより把握に努めました。

- 地域のおまつり・高齢独居者の食事会・地区社会福祉協議会の研修等に参加し、介護予防についての広報を行い、理解の促進に努めるとともに把握にも努めました。

エ 総合相談・支援事業

- ① 民生委員や福祉保健活動団体関係者と顔の見える関係づくりを日頃から心掛け、協力関係の構築に努めました。
- ② 潜在的なニーズ発掘と地域の実態把握のため、「らいぶステーション」への出張相談を継続しました。
- ③ 西区で行われている「ケアプラザ会議」・「包括の担当者会議」及び西区との月1回の定例カンファレンスを活用して、地域ケアプラザならではの迅速で各職種が協働で働きかける相談支援事業を行いました。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

□ 早期発見・虐待防止に向けての工夫等

（ネットワーク構築、認知症高齢者世帯への支援、介護者支援など）

- ① 西区が主催する「処遇困難事例検討会」に積極的に参加し、事例やケースごとの処遇方法を共有しました。
- ② 地域のネットワークづくりとして、個別ケース中心に関係機関とのカンファレンスを行いました。
- ③ 権利擁護の啓発講座を分かりやすい「寸劇」に仕立て、西区役所・地域包括支援センター・あんしんセンター共催で実施し、権利擁護についての理解を深めていただきました。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ① 特に、地域のケアマネジャーのネットワークづくりや質の向上を目指し、西区ケアマネ研究会の役員会・定例会等に積極的に出席し、地域のケアマネジャーの情報を得て、具体的な助言や支援を行いました。
- ② 勉強会サロンを開催し、地域のケアマネジャーの情報交換の場や自己研鑽の機会を提供しつつ、地域包括支援センターの役割について、説明し、双方の共通認識作りに努めました。
- ③ 地区の民生委員・児童委員と顔の見える関係をつくるために、個別ケースでの連携でお互いの理解を深め、また、各種の地域行事等に積極的に参加し協力体制を整えました。
- ④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務年間計画については、四半期ごとに評価・計画の見直しを行いました。

キ 介護予防事業（体力向上プログラム）

地域の方々が要介護状態にならないで、いつまでも健康で生き生きと過ごしていただくために「にこにこしにあセミナー」を3回開催しました。

- ①手軽に続けられる健康体操やフットケアを行い、筋力アップを図りました。
 - ②口腔ケアの大切さを学んで、おいしく食事を食べ、肺炎等を防いで健康維持に役立てていただきました。
 - ③特に高齢者の栄養バランスのとりかた、おいしく食べるヒントを学んでいただき、日頃の食生活に役立てていただきました。
- 以上のような内容を3回コースにて行い、合わせて3回実施いたしました。

ク 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師職担当看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
専任	非常勤職員	介護支援専門員	1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	1名

《目標に対する取組状況》

ご利用者の自立に向けた目標志向型ケアプラン作成を心がけ、サービスの導入に当たっては明確な目標設定を行い、当該サービス提供期間毎に評価を行いました。要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、包括や地域活動交流事業などと協力し、その情報の中から適切なサービスを紹介いたしました。

特に、独居の方に対しての見守りは、介護保険制度以外でも他の職種と協力して随時、行ってまいりました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- 担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常のサービス地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）をいただきます。今年度内において、このような事例はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 要支援者・特定高齢者を対象とした介護予防コーラス事業を実施し、多くの方が参加し効果をあげています。ケアプラザまつりで日頃の成果を披露しました。
- 地域包括支援センター3職種が常に共通認識を持てるよう、所内で定期的に会議を行い、また、日常的にも必要時には協力して、個別ケースの共通把握や理解に努めて、安心して相談いただける体制をとってまいりました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
123	128	129	132	130	128
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 通所介護計画の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常生活動作訓練）・介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供いたしました。また、プランに則り、個別機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- ・通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者やご家族の意思を尊重し心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるように計画の作成を行いました。
- ・サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。また、要介護状況の軽減もしくは要介護状態になることの予防に資するように、自立を支援するようなサービスの提供を行いました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

○1割負担分	
（要介護1）	708円
（要介護2）	825円
（要介護3）	942円
（要介護4）	1,059円
（要介護5）	1,176円
○加算	
サービス提供体制強化加算	13円
入浴加算	53円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	157円
○食費負担	650円

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00～16:15

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員（介護職員兼務）	3名
	看護職員	6名
	介護職員	16名
	機能訓練指導員	6名
	調理員	6名
	ドライバー	4名

《目標》

ご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活が営めるようにサービスを提供しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決定し、ご利用者に合った計画を立てて実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- お客様お一人ひとりへの個別対応の取組み
 - ・自立支援を念頭に置き、お客様一人ひとりの能力に添った援助を行いました。
 - ・個別機能訓練計画書を基に、機能訓練指導員が機能訓練を実施いたしました。
 - ・看護師により、食事前には嚥下体操、食後には歯みがき指導等を行い、口腔ケアに力を入れております。口腔内を健康に保ち、誤嚥を防ぎおいしく召し上がっていただけるように支援してまいりました。
 - ・書道・折り紙・ぬり絵など、個別に楽しくて心身の活性化にも連なるレクリエー

シヨンプログラムを用意し、楽しんでいただきました。

- ・ホットプレートを使用した調理訓練レクリエーション、シルバー体操指導員によるリハビリ体操など、レクリエーションプログラムの中にも機能訓練の要素を盛り込んで楽しく行いました。

○入浴

- ・ゲルマニウム温浴を導入し、温泉気分で入浴を楽しんでいただきます。また、季節行事として、しょうぶ湯やゆず湯も楽しんでいただきました。

○お食事

- ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供しました。また、毎月テーマを決めて、バラエティに富んだ季節感を盛り込んだ食事を作り、おいしく召し上がっていただきました。お誕生日週間には、和菓子や洋菓子を取り寄せていつもとは違った味を楽しみ、みんなで祝いしました。

○スタッフ教育

- ・毎月、ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いや研修を行いました。
- ・全員を法人内の他ケアプラザに実習見学に出し、他のケアプラザから多くを学び、全員でその情報を共有し、取り入れるべきところは参考にして改善しました。
- ・スタッフ一人ひとりが指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、知識や技術向上のための研修等を実施しました。

○関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況に合った適切なサービスが常に提供できるよう努めました。
- ・地域の方（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に、当地域ケアプラザのデイサービスを知っていただけるよう、いろいろな機会にPR等に取り組みました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
688	728	735	718	693	707
10月	11月	12月	1月	2月	3月
722	637	606	581	557	626

● 介護予防通所介護

《提供したサービス内容》

- 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）・介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供しました。また、ケアプランに即し、運動器機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- ・介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう配慮しました。必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行い、プランの見直しを行いました。
- ・サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に十分な配慮を行いました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

○1割負担分

（要支援1）	2, 327円
サービス提供体制強化加算（1）	51円
（要支援2）	4, 549円
サービス提供体制強化加算（1）	101円

○加算

運動器機能向上加算	236円
口腔機能向上加算	157円

○食費負担	650円
-------	------

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00 ～ 16:15

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員（介護職員兼務）	3名
	看護職員	6名
	介護職員	16名
	機能訓練指導員	6名
	調理員	6名
	ドライバー	4名

《目標に対する取組状況》

ご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じたサービス提供ができるよう、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決め、ご利用者に合った計画を立てて、サービス提供を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○お客様お一人おひとりへの個別対応の取組み

- ・自立支援を念頭に置き、お客様一人ひとりに添った援助を行いました。
- ・運動器機能向上計画書を基に、機能訓練指導員が運動器機能向上のための訓練を実施いたしました。
- ・看護師が食事前に嚥下体操、食後には歯みがき指導等を行い、口腔ケアに力を入れ、口腔内の健康に努め、おいしく食事を召し上がっていただけるように支援しました。

○入浴

- ・ゲルマニウム温浴を導入し、温泉気分で入浴を楽しんでいただき、また、季節行事として、しょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいただきました。

○お食事

- ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りの食事を提供しました。毎月テーマを決めて、バラエティに富んだ季節感を盛り込んだ食事を提供しました。お誕生日週間には、和菓子や洋菓子を取り寄せて、手作りとはまた違った味を楽しんでいただき、みんなでお祝いをしました。

○スタッフ教育

- ・毎月、ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を行い、情報の共有、技術の向上を図りました。
- ・全員が、『報告・連絡・相談』を常に意識し、業務にあたりました。
- ・スタッフ一人ひとりが指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、知識や技術向上のための研修等を実施しました。

○関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況に合った適切なサービスが常に提供できるように努めました。

- ・地域の方（民生委員など）に、デイサービスを知っていただけるよう、いろいろな機会にPR等に取り組みました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	13	17	13	15	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	13	14	15	16	14

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

	管理者（介護支援専門員兼務）	1名
常勤	介護支援専門員	2名
非常勤兼務	介護支援専門員	1名

《目標》

(1) 在宅生活の支援への対応

ケアプランの作成にあたっては、ご利用者のみなさまの心身の状況や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるように、介護保険サービスのみならず、社会資源等を活用したケアプラン作成に努めました。

(2) 公正中立な立場により多様で総合的なサービス調整への対応

行政機関や地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように、公正中立な立場に立ちケアプランを作成し、サービス事業所等との連絡調整をサービス担当者会議等で行いながら、ご利用者・ご家族とともに目標に向けて取り組めるようなケアプラン作成に努めました。

要介護認定等との申請に係る相談・助言及び申請ができない場合は代行、ケアプラン作成、サービス事業所等及び関係行政機関等との連絡調整、ケアプランの実施状況の把握、介護保険施設の紹介その他の便宜の提供を行うため、ご利用者宅の訪問やサービス担当者会議等を法令に則り適切に行いました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、ご利用者、又はご家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨、文書に署名、押印をいただいておりますが、年内に対象者となる方はいらっしゃいませんでした。

① 公共交通機関を利用した場合

公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。

② 自動車を利用した場合

プラザより片道6.5km未満は無料とし、6.5km以上は10kmごとに160円をいただきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所であることを大いに活用し、地域包括支援センター、区役所担当者、地域のサービス事業者等と連携を十分に行い、広い視点からのケアマネジメントに取り組みました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
72	72	73	75	75	78
10月	11月	12月	1月	2月	3月
79	83	82	79	83	83

<以上>

平成21年度 自主事業収支決算書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
にこにこ隊	高齢者	52135	0	28970	22220	29915	0
	472人						
	なし						
しなくちゃクッキング	高齢者	50327	0	42900	0	50327	0
	244人						
	300円						
おやじの時間	地域	3860	0	0	0	3860	0
	91人						
	なし						
茶ばしらサロン	高齢者	73649		60800	22220	51429	0
	388人						
	100～200円						
わたぼうし	障がい	72045	0	23200	24000	48045	0
	105人						
	500円						
みんなで遊ぼう	乳幼児	25501	0	11800	2050	23331	120
	557人						
	100円						
子育て相談室	乳幼児	0	0	0	0	0	0
	0人						
	なし						
家族介護者の集い	高齢者	66401	0	36500	0	66401	0
	43人						
	なし						
出張相談 よろづや戸部本町	地域	0	0	0	0	0	0
	79人						
	なし						
出前講座	地域	0	0	0	0	0	0
	397人						
	なし						
カシャツと倶楽部	地域	0	0	0	0	0	0
	117人						
	なし						
ケアマネサロン	ケアマネジャー	16666	16666	0	16666	0	0
	183人						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成21年度 自主事業収支決算書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
認知症サポーター研修	地域	0	0	0	0	0	0
	40人						
	なし						
今日からあなたもけあの達人 ～こんな介護もあったのね～	地域	0	0	0	0	0	0
	49人						
	なし						
あなたらしい老い支度	地域	3000	0	0	3000	0	0
	103人						
	なし						
今日からあなたもフラガール	地域	0	0	37200	0	43055	0
	184人						
	300円						
西区 俺達の甲子園	障がい	0	0	0	0	0	0
	67人						
	なし						
練功で健康	高齢者	36663	0	12200	36663	0	0
	76人						
	200円						
そば打ち教室	地域	45000	0	28000	0	45000	0
	55人						
	1000円						
歓喜の歌を歌いましょう	地域	39425	0	24400	33330	6095	0
	156人						
	200円						
年越し発表会	地域	48099	0	7800	5555	42544	0
	82人						
	100円						
ケアプラザまつり	地域	137776	0	0	0	137766	0
	587人						
	なし						
ボランティア入門講座	地域	0	0	0	0	0	0
	2人						
	なし						
任意後見制度「あなたの将来どう守りますか」	地域	912	0	0	0	912	0
	45人						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成21年度 自主事業収支決算書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おやこそば打ち教室	地域	15000	0	8000	0	15000	0
	19人						
	1組 1000円						
西区サブコーディネーター研修	サブコーディネーター	0	0	0	0	0	0
	28人						
	なし						
4ヶアプラザ合同事業 「外国文化とふれあおう」 第一段韓国編	地域	0	0	0	0	0	0
	37人						
	なし						
西区 男の料理教室交流会	地域	0	0	0	0	0	0
	24人						
	なし						
ボランティア交流会	地域	35668	0	0	16666	19002	0
	34人						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこ隊	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：コーラス	毎月第2・4月曜日 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しなくちゃクッキング	目的：主に一人暮らしや団塊の世代の男性の閉じこもり防止・交流の場の提供・介護予防 内容：調理・茶話会	毎月第2・4火曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：地域の男性の居場所作り・介護予防・ボランティアの育成 内容：地域にいる男性の居場所づくり支援の為、外出事業を参加者が企画・呼びかけを行い、実際に実施する事によって、連携を深める。Wiiや麻雀などのゲームを使用した介護予防	毎月第4火曜日 13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶ばしらサロン	目的：閉じこもり予防・仲間作り支援・介護予防 内容：工芸・手芸・調理・運動プログラム等	毎月第2・4水曜日 23回

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わたぼうし	<p>目的：若年期認知症の方・介護保険でのサービス利用できない方へのミニデイサービス。社会参加の場・レスパイトケア</p> <p>内容：地域のボランティアの方が中心となり、若年期認知症の方を対象としたミニデイサービス（余暇活動・昼食・音楽療法・外出行事）</p>	<p>毎月第3水曜日</p> <p>12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	<p>目的：子育て支援・親子の交流の場の提供</p> <p>内容：第2週・・・プレイルームの提供 第4週・・・イベントの実施（読みきかせ、体操等）</p>	<p>毎月第2・4木曜日</p> <p>23回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て相談室	<p>目的：ニーズの把握・身近な相談窓口としての周知</p> <p>内容：子育て支援事業「みんなで遊ぼう」開催日に個別相談を実施</p>	<p>毎月第2木曜日</p> <p>12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者の集い	<p>目的：家族介護者同士の交流の場の提供</p> <p>内容：介護者同士の話し合い・情報交換・介護の情報提供・講座等実施しながら親睦</p>	<p>5・7・11・1月</p> <p>4回</p>

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張相談 よろづや戸部本町	目的：ケアプラザの周知・ニーズの把握 内容：藤棚商店街にある「らいぶステーション」に出向いての相談会の実施（地域の祭りも含む）	5・7・9・10・11(2回)・1・3月実施 全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	目的：ケアプラザの周知・ニーズの把握・介護予防 内容：ひとり暮らし高齢者食事会・老人会・町内会・などの集まりに出向いて。講座・講和を実施	5(2回)・7・9・11・12・1(2回)・3月 実施 全9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カシヤット倶楽部	目的：団塊の世代の仲間作り支援・情報発信ボランティアの育成 内容：地域にいる中高年の仲間作り支援（写真を通して住み慣れた西区の情報を発信するボランティアの育成）	毎月第2土曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的：エリアに利用者さんを持つケアマネジャーの質の向上、地域包括支援センターとの顔の見える関係作り 内容：専門家を招いての勉強会・交流会	4・5・6・7・9・10・11・12・2・3月 全10回

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター研修	目的：認知症ケアの普及啓発 内容：センター方式を利用したアセスメント方法と、ご本人の暮らしの理解についての研修	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今日からあなたも けあの達人～ こんな介護も あったのね～	目的：介護者・地域の方々に介護技術・在宅介護での利用できる制度の啓発 内容：訪問理美容・福祉用具・認知症についての講座を実施	9・11・1月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あなたらしい 老い支度	目的：権利擁護普及啓発 内容：介護保険・相続と遺言・成年後見制度・お葬式についての理解	9/18、10/2、 10/16、10/30 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今日からあなたも フラガール	目的：交流の場の提供・仲間作り・介護予防 内容：フラダンスの基本ステップと踊りを2曲マスターし、ケアプラザ祭りにて発表を行う	9～11月 全9回

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
西区 俺達の甲子園	目的：交流の場の提供・相互の活動団体の理解・仲間作り 内容：任天堂Wiiを使用した野球ゲーム大会 障がい関係分科会に所属している団体やケアプラザで実施している「おやじの時間」のメンバーによる交流会	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
練功で健康	目的：交流の場の提供・仲間作り・介護予防ボランティアの育成 内容：太極拳を用いた健康づくり講座・介護予防ボランティアの育成	10月～3月 第1・3金曜日 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そば打ち教室	目的：交流の場の提供・仲間作り・介護予防 内容：そば打ちの手法を学ぶ・「歓喜の歌を歌いましょう」と共に発表会を実施	11～12月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歓喜の歌を歌いま	目的：交流の場の提供・仲間作り・介護予防 内容：横浜市歌・第九を歌う・「そば打ち教室」と共に発表会を実施	10～12月 7回

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
年越し発表会	目的：ケアプラザの地域への周知・交流の場の提供・仲間作り・活動の場の提供 内容：歓喜の歌を歌いましょう・そば打ち講座の成果発表会	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり	目的：ケアプラザの地域への周知・交流の場の提供・仲間作り・活動の場の提供 内容：模擬店・アトラクション・こどもウォークラリー等	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア入門講座	目的：ボランティアの育成 内容：ボランティアについての心構え（講和）・施設にてのボランティア活動体験	11～12月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
任意後見制度 「あなたの将来どう守りますか」	目的：権利擁護普及啓発 内容：任意後見の寸劇及び司法書士による講義	2/16 1回

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おやこそば打ち教室	<p>目的：交流の場の提供・仲間作り・食育</p> <p>内容：親子で一緒に蕎麦を打つ事により、一緒に作業する楽しさ、食の大切さを学ぶ機会として実施</p>	<p>3月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区サブコーディネーター研修	<p>目的：西区内サブコーディネーターのスキルUP</p> <p>内容：第二期西区地域福祉保健計画の理解・地域組織について講義形式で学ぶ</p>	<p>3月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
4ケアプラザ合同事業 「外国文化とふれあおう」 第一段韓国編	<p>目的：交流の場の提供・仲間作り支援</p> <p>内容：西区内の4ケアプラザのサブコーディネーターが福祉保健計画を基に、事業の企画・運営を行う</p>	<p>1月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区 男の料理教室交流会	<p>目的：交流の場の提供・仲間づく支援</p> <p>内容：宮崎ケアプラザを会場として実施。宮崎地域ケアプラザの男の料理教室「ボーイズキッチンワーカーズ」が料理を作り、他のケアプラザの料理教室参加者を招き、交流会を行う。</p>	<p>3月</p> <p>1回</p>

平成21年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：ボランティアと職員との交流・ボランティアの育成 内容：交流・会食	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成21年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名: 戸部本町地域ケアプラザ

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	
			包括的支援	介護予防事業					介護予防支援
				体力向上プログラム事業	地域包括支援センター相談体制強化事業				
収入	指定管理料収入	18,827	23,513	420					
	介護保険収入				7,012	15,277	81,752	8,088	
	その他								
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)								
	補助金収入	93	0						
	認定調査					742			
	積立金取崩収入						125		
	その他	364	114			427	1,166		
収入合計(A)	19,284	23,626	420	0	7,012	16,446	83,043	8,088	
支出	人件費	11,469	20,227		0	1,507		49,384	
	事務費				0				
	事業費	2,782	2,348	420			1,644	11,373	
	管理費	6,438	1,706					7,047	
	その他								
	他会計区分繰入金支出							22,641	
	修繕積立金							789	
	他居宅介護支援事業所委託分					2,054			
その他				0			0		
支出合計(B)	20,690	24,280	420	0	3,560	17,734		91,234	
収支 (A) - (B)	-1,406	-654	0	0	3,451	-1,288		-103	

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載してください。